



私たち 風疹をなくそうの会「hand in hand」は 風疹の予防とCRSへの理解を求めます。

～風疹でもたらされる苦しみをなくしたい～

**不妊治療を始めた方、
不妊治療中の方**

赤ちゃんがほしいね

必ず守って・・・

風疹のワクチン接種はしていますか？
妊娠初期に風疹にかかるると赤ちゃんに障がいが出ることがあります。
赤ちゃんを守るためにパパ、ママになる前にまずは！**ワクチン接種をしましょう！**

風疹の抗体が低いことが
妊娠後にわかってしまった・・・

赤ちゃんがごきげん
うれいなのよ
うーっわーっわー・・・

1人で抱えないで

妊娠中は風疹のワクチン接種はできません。まずは家族の人に風疹のワクチン接種をしてもらいましょう。そしてできるだけ外出を控え、感染予防に努めて下さい。特に**妊娠初期**はご注意ください。
そして出産後、できれば入院中に**ワクチン接種をしましょう。**

妊娠中に
風疹に
かかってしまった

うーっわーっわー

そんな時は・・・

産婦人科で、今後の相談をすることができます。まずはかかりつけの産婦人科に**来院以外の方法**で連絡して下さい。

妊娠 風疹 二次施設 検索

1人で抱えないで・・・
一緒に歩いていきませんか・・・

**先天性風疹症候群(CRS)の
赤ちゃんとともに**

会のホームページ: <http://stopfuushin.jimdo.com>
ブログ: <http://ameblo.jp/tonokunn/>
FACE BOOK: <https://www.facebook.com/fuushin2013>
MAIL: stopfuushin2013@gmail.com

先天性風疹症候群(CRS)の赤ちゃんの接触者における感染性

先天性風疹症候群の赤ちゃんの鼻、のど、尿からは、生後数カ月にわたって風疹ウイルスが検出されることがあります。しかし、その赤ちゃんと接触した**免疫を有する方々**から、周りの人に**感染することはありませんし、通常の仕事や学校や生活の中で衣服を介して感染することはありません。**

特に医療関係者、保育所等の児童福祉施設等の職員、学校等の職員等の方々など、感染症に日頃接する可能性が高い方々には、**正しい感染予防の知識をもって、風疹を含むワクチン接種の実施などにも率先して努めていただきたい**と思います。

※NIID 国立感染症研究所 HP より一部抜粋

私たちの願い (体験談より)

発疹と発熱があり産婦人科に相談。「風疹かもしれないですね…」という状況で「赤ちゃんはあきらめたほうがいいですよ」と言われました。

産婦人科の先生方へ・・・

- ★今、存在する CRS のお子さんの情報提供して下さい。
- ★胎児の様子や変化を注意深く観察した上でその後の相談をさせて下さい。
- ★「産むかどうか」の選択をさせて下さい。

ガーン...

あきらめた方がいいですよ...

職場で「子どもが CRS でウイルスが排出されているのなら親のあなたも感染源になり得る」と通常業務からはずされてしまいました。

医療機関の先生方へ・・・

- ★誤解や中途半端な情報のために職場などで不当な扱いを受けてしまう方もいます。そういう方たちが1人で抱え込まないよう「いつでも相談においで」など声をかけてあげて下さい。

×日付 異動

- ①ウイルス排泄があるからと近くの医療機関に診察を断られてしまいました。
- ②ウイルス排泄があるからと難聴等の集団療育を受けることができません。

医療施設・療育施設の先生方へ・・・

- ★観察室などの個室を使ったり他児と時間差をつけたりと特別配置をすることによって受け入れをしていただけないでしょうか？

小児科